

# IR Report

証券コード: 6282

## オイルス工業

### 摩擦・摩耗・振動技術で「すべり軸受」の業界トップランナー 株主優待拡充も発表!

「すべり軸受」(オイルスベアリング)の最大手であるオイルス工業。摩擦・摩耗の技術から派生させた振動技術による「免震・制震装置」や再生可能エネルギー、半導体製造装置の分野にも幅広く存在感を示す。新市場の開拓と積極的な海外展開で安定成長を目指している。株主還元にも積極的に、株主優待制度の拡充も発表した。

**給油不要な軸受の独自技術を基盤に事業を拡大する**

モノが動くところには必ずといっていいほど使われる部品に軸受がある。軸受にもいくつかの種類があるが、給油を必要としない「すべり軸受」を起点に事業を発展させてきたのがオイルス工業だ。

1920年代、創業者の川崎宗造氏がアメリカ製の紙巻きタバコ巻き上げ機に使われていた木質の無給油軸受に着目し、日本初の無給油木質軸受を開発・製品化したことが原点となる。その後、金属や樹脂へと素材を

広げ、幅広いラインアップを揃えていった。

現在は、「軸受機器」のほか、「構造機器」「建築機器」の3事業を展開。売上の約7割を軸受関連が占める。特に自動車分野が全体の約5割と大きく、国内すべての自動車メーカーに加え、海外の主要自動車メーカーにも広く採用されている。車種によつては1台に100個以上の軸受が使用されることもある。

免震・制震装置を中心とする構造機器分野では、橋梁や建築などの社会インフラを支えており、日本初・世界初の採用例も多い。地震の揺れを吸収して建物や設備を守る技術は、病院や庁舎に加え、事業継続性が求め

**顧客の要望に深く柔軟に応える独自の営業体制**

一般的な金属軸受は、グリス封入や追加給脂などのメンテナンスが欠かせない。しかし、オイルス工業の軸受は、素材そのものに潤滑成分(潤滑油)を含ませ、使用中にじわじわと成分が供給される構造となっている。これにより給油が不要、もしくは給油回数を大幅に減らし、メンテナンスの省力化と環境負荷

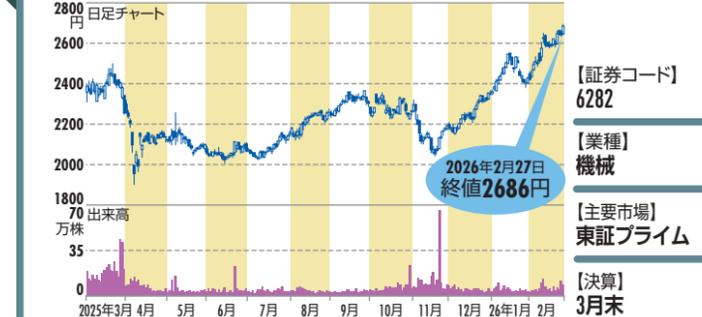
の低減を実現している。素材のラインアップは、「金属」「樹脂」「金属と樹脂の複合軸受」など100種類以上に及ぶが、既存素材で顧客の要求を満たせない場合には、新素材の開発にも積極的に応えている。これを支える仕組みが、営業と技術が一体となって顧客に直接向き合う。テクニカルダイレクトセールスだ。営業が顧客の要望を持ち帰るのではなく、研究開発・技術の担当者が同席し、その場で提案・解決をするなど、

**将来性は? インドに追加投資 新市場の開拓と持続的な成長へ**

オイルス工業の成長戦略は各

スピード感をもった手法で顧客に寄り添う。さらに、軸受単品での性能評価をするのではなく、実機に近い条件で試験を行い、改善提案まで実施。神奈川県藤沢市の本社を中心とした研究開発体制と複数工場での量産体制で顧客の要求に応えている。

## ROE10%以上を目指し株主還元を充実させる



持続的な成長と企業価値向上のため、営業利益率15%以上、ROE10%以上を目指す。株主優待制度の拡充も発表し、株主還元の充実を図っていく。

| 業績(百万円) | 売上高    | 営業利益   | 経営利益  | 利益    | 1株益(円) | 1株配(円) |    |
|---------|--------|--------|-------|-------|--------|--------|----|
| 23.3    | 62,882 | 5,056  | 5,730 | 4,132 | 132.44 | 55     |    |
| 24.3    | 68,765 | 7,291  | 7,791 | 5,476 | 177.79 | 75     |    |
| 25.3    | 67,604 | 6,942  | 7,381 | 6,308 | 208.41 | 85     |    |
| 会社予想    | 26.3   | 68,300 | 6,100 | 6,300 | 4,100  | 140.66 | 85 |

| 参考指標    | 割安度    |       | 収益度   |            | 成長度      |      |
|---------|--------|-------|-------|------------|----------|------|
|         | 予想PER  | PBR   | 予想ROE | 予想売上高経常利益率 | 予想売上高伸び率 |      |
| 会社予想ベース | 2/27現在 | 19.1倍 | 1.04倍 | 5.3%       | 9.2%     | 1.0% |

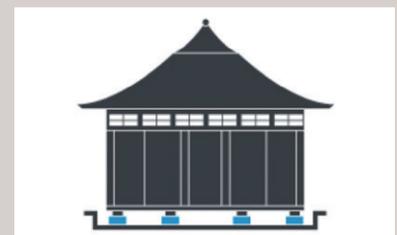
部門で明確だ。一般軸受分野では、水車・水門・洋上風力といった厳しい環境下での用途展開を強化。また、空気軸受の「エアベアリング」は、半導体製造装置の精密位置決めに活用されており、需要拡大が期待される。自動車分野では、EV普及に伴う電動化の進展に合わせ、増加が見込まれるポンプ類など、新たな軸受ニーズにも対応していく方針だ。海外展開も積極的に進めており、5カ国6拠点の現地生産体制を生かして海外売上高比率を現在の4割から引き上げる考えを持つ。なかでも成長市場として注目のインドでは、第2工場の建設を進めており、需要取り込みを強化する。構造機器では、高度経済成長期に整備されたインフラの老朽化を背景に、更新・耐震需要の拡大を見込む。同様に、建築機器についても、建物の長寿命化に伴うリニューアル需要をチャンスと捉える。

2026年度は中期経営計画の最終年にあたり、さらなる成長を目指す。また、株主優待制度も拡充。ポイント制の株主優待を導入しているが、ポイント付与を年1回から2回に。株主の期待に積極的に応えていく。

### レトロフィット免震技術

#### 歴史的建物も守るレトロフィット免震技術

既存建物に大きな改修を加えることなく、建物を使用しながら耐震性能を飛躍的に向上させる技術。歴史的建築物や文化財に多く適用され、揺れを大幅に低減し、文化資産の安全性と長寿命化を実現する。



外観や内部空間を損なわず改修できる。

### 株主優待制度拡充

#### ポイント付与が年2回に株主の期待に応える!

オイルス工業は、ポイント制の株主優待制度「オイルス工業プレミアム優待倶楽部」を導入しているが、26年2月に制度拡充を発表。ポイント付与が年1回から年2回となる。新制度の開始は26年9月末日の基準日から。その後、毎年3月末日および9月末日時点で、300株以上を保有する株主を対象に、保有株式数に応じてポイントが付与される。ポイントは4000点以上の商品の中から自由に交換できる仕組みだ。

| 保有株式数         | 進呈ポイント   |          |
|---------------|----------|----------|
|               | 9月末      | 3月末      |
| 300株~399株     | 3,000pt  | 3,000pt  |
| 400株~499株     | 3,500pt  | 3,500pt  |
| 500株~599株     | 6,000pt  | 6,000pt  |
| 600株~699株     | 6,500pt  | 6,500pt  |
| 700株~799株     | 7,000pt  | 7,000pt  |
| 800株~999株     | 9,000pt  | 9,000pt  |
| 1,000株~1,299株 | 10,000pt | 10,000pt |
| 1,300株~1,999株 | 20,000pt | 20,000pt |
| 2,000株以上      | 25,000pt | 25,000pt |



※新制度は26年9月末日の権利確定日より、26年3月末日の権利確定日は変更前のものが適用される。



### トップインタビュー

#### お客さまを世界初・世界一に! そのために当社の技術があります

オイルス工業 代表取締役社長 坂入良和 (さかいり・よしかず)

個人投資家の皆さまには十分認知されていない当社ですが、事業や技術に触れていただけば、きっと興味を持っていただけると考えています。

「技術で社会に貢献する」という経営理念のもと、すべての事業が社会貢献性が高く、さまざまな社会課題を自社技術で解決することを使命に取り組んでまいりました。お客さまに寄り添い、お客さまの製品が社会に貢献されてこそ当社が「活きる」と考えております。私たちの製品は決して派手ではありませんが、世の中になくてはならない存在です。

配当や優待を通じた株主還元も重視しながら、技術で社会に貢献し、企業価値を高めていくことが当社の基本姿勢です。